

普及センター もりおか 12月

インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第150号平成26年11月25日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6730 FAX 019-629-6739

地元の農業について学ぶ！！ 農大生と関係者の懇談会を開催！！

盛岡農業改良普及センターでは、岩手県立農業大学校と連携して、出身地域等の農業関係者と懇談、地域農業の視察等を通じ、学生に地域農業への理解を深めてもらうことを目的に懇談会を開催しています。

今年は11月13日に雫石町の菊地敦氏の野菜ほ場の見学と、花工房らら倶楽部にてクリスマスアレンジメント作成、施設見学を行いました！



菊地さんの話を聞く
学生たち・・・



クリスマスアレン
ジメントを作成中・・・

また、関係者との懇談会では、盛岡管内の農業の概要や、紫波町で農業青年研究グループ活動をしている 東葡萄倅倶楽部の吉田代表の話を聞くとともに、2グループに分かれての分科会で情報交換を行いました。

学生には、出席いただいた農業農村指導士の方々から話された「農業をする上でも、人と人とのつながりを非常に大事にしている。」との言葉が深く胸に刻まれたようで、「改めて、とても大切なことだと思った。」といった感想が聞かれました。



分科会の様子・・・

これからの学生の成長が楽しみです。

「技術実証って、つまりはどんなことをするの？」

前は果樹チームから「フェンシングワイヤーを用いたクマ・イノシシ兼用柵の設置による果実食害防止と新たな獣種に対する侵入防止技術の実証」について紹介しました。

今回は作物チームから「大豆の晩播狭畦密植栽培」について紹介します。



背景

大豆の晩播狭畦密植栽培は、雑草や病害虫の発生が少なくなることがわかっていますが、晩播専用品種は少なく、生育の特徴も把握されていませんでした。



そこで!



東北農業研究センターで行われている晩播栽培適性の高い大豆品種の育成に協力し、現地実証圃を設置しました。また、新品種「シュウリュウ」の晩播適性を評価するために試験圃を設置しました。

実証内容

設置場所 紫波町 (農) ゆいっこの里犬草 1ha 圃場
供試品種 東北農業研究センターで育成された4品種
比較3品種
耕種概要 耕起・整地
7/7 (麦稈処理用ソルタ -、心土作溝土層改良機)
7/14 (0-列)
播種日 7/17 (手播き)
基肥 草地212 (20kg/10a、側条)



写真1 東北農業研究センターのみなさんが大仙市からやってきて、丁寧に種まきました



写真2 新品種「シュウリュウ」の晩播試験圃の様子 (8/18)

成績は、現在とりまとめ中です。晩播栽培の可能性をもっと広げるため、試験は5年間の予定で行われる予定です。岩手の気象条件にぴったりの大豆品種が選抜されることを期待しています!!

